

インターネットで「おがまち日奈久ニュース」を検索すれば見ることができます。日奈久の話題・情報をお知らせください。 住民自治会への問合せも 日奈久コミュニティセンター ☎ 38-2390

無病息災を願って どんどや開催

主催 日奈久住民自治会 主管 企画イベント部会

時折強い風が吹いていましたが、1月7日（土）にどんどやが開催されました。

前日6日（金）午前9時から、塩南町で竹を切り出し、小・中学校運動場に運び入れました。中学生や中学校の先生方をはじめとして、20人以上の参加があり、協力して櫓を組み立てていきました。伐採した樹木等の入れ込みが終わり、櫓が完成しました。去年より2時間以上も早く



無病息災を願って、激しく燃え上がる炎

餅をアルミホイルに包んで細い竹の先につけた針金に縛って焼きました。外側が焦げた餅、中心に芯が少し残っている餅、上手に焼けた餅、それぞれの餅を美味しく味わって食べていました。また、サツマイモを火中に入れて、焼

12時には終了しました。

7日（土）は、朝方まで雨が降り続け開催が心配されましたが、点火の午前9時には晴れ間が見えました。会場には、のべ60人程の参加がありました。点火されると瞬く間に炎が昇り、大きな歓声が上がりました。火の勢が増すにつれて竹がパーンと破れる音が、邪気を払っているように聞こえました。火の勢が落ちていくと、持ち寄った餅をアルミホイルに包んで細い竹の先につけた針金に縛って焼き



餅やイモを投げ入れて「早く焼けないかなあ」との声

き芋を作って仲良く分けて食べている姿もありました。

準備や後片付けまで参加された皆様、2日間にわたって大変お疲れ様でした。特に火の管理、消火、後片付けにご協力いただいた八代消防団第24分団の皆様、最初の土入れと整地、最後の後片付けを行って頂いた日奈久アグリの皆様、本当に感謝申し上げます。



題名「かぞくでおでかけうれしいな♡」

やったね！廣瀬笑愛さん（みずほ保育園5歳、浜町）
住友生命主催「目指せルーブル第45回こども絵画コンクール」

銀賞入賞



廣瀬笑愛さん

全国から73026点の応募の中から、見事、幼児0〜4歳部門銀賞に輝いたのは、廣瀬笑愛（えな）さん（作品作成時は4歳）です。受賞が決まったときは、「やった！ルーブルだ」とみんなの歓声が上がったそうです。

このコンクールは、フランスのパリにあるルーブル美術館と連携し、優れた作品（廣瀬さんの作品を含めた105点）が、1月7日〜9日まで東京タワーホールで展示された後、3月17日〜4月3日までルーブル美術館で展示されます。

開田知子副園長は、「先生方が絵画の講習を受け、子供達に指導しています。笑愛さんは、活発で友達もできて楽しそうです。この年齢の子は、楽しかった思い出など心にあるものがあふれ出てきます」と目を細めていました。

みずほ保育園では、「アート展」と銘打って、年末に園庭に全ての子供達の作品を展示し、ライトアップする取組が、18年ほど続けられています。



園庭いっぱいに展示された園児の作品をライトアップ

全員の力走でつかんだ躍進賞

第18回八代市校区対抗駅伝競走

1月15日（日）午前9時30分、県営八代運動公園競技場スタートで、第18回八代市校区対抗駅伝競走が開催されました。



ゴールする白木選手



躍進賞を受け取る中山選手

特にアソカカーの白木選手（ふるさ）と選手は、区間3位の素晴らしい走り、ゴールを駆け抜けました。選手の皆様、並びに日奈久スポーツ協会の関係者の皆さん、大変お疲れ様でした。

日奈久チームは、参加13チーム中9位でした。全員が力走し、今までのタイムを大きく更新したチームに送られる「躍進賞」を受賞しました。一人一人が力を出し切った成果と言えるでしょう。この大会に向けて、選手の皆さんは、日々努力を重ねてきました。出場した選手は、次の皆さんです。（敬称略）

- 1区 高澤杏奈 2区 松本龍弥
- 3区 森本皇我 4区 本田りく
- 5区 木元陽貴 6区 川上ひかる
- 7区 堤大夢 8区 梅田大資
- 9区 中山陽 10区 白木利昌



力を出し切り笑顔の皆さん



シャッターに描かれた楽しい図案

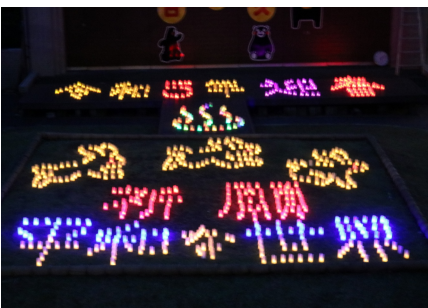
「この町は私たちが守る！」

消防団活動にご理解を！若い人來たれ

防火用水の点検にも頑張っています。このたび24分団の消防車庫のシャッターが老朽化したので、消防費を活用して修繕しました。親しみやすく楽しい図案に変更しました。そのシャッターには、
「WE WILL PROTECT THIS TOWN」（この町は私たちが守る）の文字に、24分団の地域を守り抜くという熱い思いが込められています。
「この思いを地域の皆さんにもご理解していただくとともに、若い団員の加入を心待ちにしています。寒さ厳しい毎日が続きます。暖房器具などを使う機会が増えています。が、火の用心に努めてください。特に、寝る前に火の始末の確認をお願いします」と丸尾憲（のりゆき）分団長は、話しました。火事は、時に尊い命や財産を奪い、周囲にも被害が拡大するので要注意です。

ひなぐの灯りに 平和の願いを込めて

毎年恒例になりつつある「ひなぐの灯り」です。今回は、12月30日（金）に小林緑郎宮司他有志の皆さんにより設置されました。図案は、新年のウサギ年に合わせて、躍動する3羽のウサギと「祈願平和な世界」の文字でした。



浮かび上がった灯り

30日の夜に温泉神社を訪れた林芝佑（りんしゆう）さん（台湾から鹿児島大学水産学部への留学生）は、「とてもきれいですね。今日は、肥薩おれんじ鉄道に乗っているところを回って来て、遅くなってしまうのですが、この灯りが見られて良かったです。これからおれんじ鉄道で川内まで行き、その後鹿児島中央駅まで行きます」と笑顔で話しました。

小林宮司は、「いろいろな行事を通して、地域住民の交流を深めていくことが大切だと思います。これからも様々な行事へのご協力をお願いします」と話しました。4日まで灯り続けました。